



けんこう家族

東京逡信病院 呼吸器外科特集

Doctor's interview

酒井 絵美

Sakai Emi



新年のご挨拶 病院長 山嵜達也
「新年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。」

■ ロボット手術センター
部長就任のご挨拶

■ 新任医師のご紹介

■ 紹介状受付・入院受付
移動のお知らせ

■ ネコ先生
『神楽坂通信』 Vol.24

■ ナースステーション
「気胸の手術入院について」

■ 人間ドック
「新規オプション検査」

〒102-8798
東京都千代田区富士見 2-14-23
TEL 03 (5214) 7111 (代)
<https://www.hospital.japanpost.jp/tokyo/>



新年のご挨拶

新年にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

2025年は病院の経営難がクローズアップされた年でした。国立大学病院全体の2025年度の赤字額は、医薬品等の物価や人件費の上昇により2024年度の286億円から400億円超と大幅に増える見込みで、設備や機器の更新や刷新が困難になりつつあります。都内は特に病院経営が厳しく、2024年度には赤字の病院が67.9%となり、公的病院である都立病院機構の赤字は2024年度には前年から56億円も増え、239億円を計上しています。当院も物価や人件費の上昇に影響を受けていますが、企業立病院として設備や機器の更新や新たな機器の整備には従来以上に力を入れていますのでご安心ください。

さて、2025年3月には整形外科部長平岡久忠先生、放射線科部長大久保敏之先生、脳神経外科部長岡本幸一郎先生などが退職されましたが、その後任として、また新たな戦力として多くの医師が着任しました。4月1日には整形外科に中山修一部長が赴任されました。日本スポーツ協会公認スポーツドクターで、オリンピックで日本代表選手の医療統括者を務めた経験もあり、膝関節等を中心とした手術を行っています。脳神経外科部長には鮫島哲朗主任医長が昇任し、脳腫瘍、頭蓋底腫瘍など全国から患者さんが紹介受診されています。放射線科では松坂優己医長が主任医長に昇任しました。また循環器内科では昨年から委嘱医師として不整脈治療を開始していた福永寛医師が常勤となり、同じ榊原記念病院から間淵圭医師も加わってより強力な体制となりました。

7月1日にはロボット手術センターに東大医科学研究所附属病院愛甲丞准教授が部長として着任しました。消化器外科の専門医・指導医で、内視鏡外科学会技術認定医、ロボット支援手術認定プロクター、消化器がん外科治療認定医などの資格を持つ上部・下部消化器手術の第一人者です。特に食道がんではダビンチ・縦隔鏡・腹腔鏡を組み合わせた開胸しない手術の開発に

加わり、手術後肺炎の減少、入院期間の短縮、手術後のQOL向上に貢献しています。

9月1日には乳腺外科西村基前医長の後任として笹原麻子医師が赴任しました。乳癌学会乳腺専門医・指導医で遺伝性腫瘍専門医の資格も有しており、女性患者が相談しやすい診療環境を整えています。10月1日には緩和ケア病棟に田代典子前主任医長の後任として杉浦美恵子医長が赴任しました。緩和医療認定医のほか、認定内科医、認定産業医、認知症学会専門医・指導医、高齢者栄養療法認定医などの資格も有しており、終末期の手厚いケアができると思います。

さて当院は2025年5月9日付で病院機能評価「一般病院2 3rdG:Ver.3.0」への更新が認定され、三つの項目でSの評価を頂きましたが、その一つは「地域に向けて医療に関する教育・啓発活動を行っている」という項目でした。NewsweekのBest hospitals 2025では国内で129位との評価を頂いています。外来の予約では紹介状をお持ちの方および再診の方を対象にWeb予約「やくばと医療機関システム」を10月に導入しました。また、外部講師を招聘した接遇講習を職員全体に実施しました。今後も医療の質・体制・環境等の改善について取り組みを継続し、さらに良質で安心安全の医療を提供するように病院全体で取り組む所存です。

2026年にははいよいよロボット手術を開始します。1月以降、胃がん、大腸がん等の消化器外科疾患から開始し、4月以降、前立腺がん等の泌尿器科疾患の手術も開始します。がんと診断されて不安な患者さんをお待たせしないように、初診時に必要な検査をできるだけ行うなど迅速に対応するように努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



病院長
山岨 達也

ロボット手術センター部長 就任のご挨拶

ロボット手術センターが開設されました

ロボット手術センター部長の愛甲 丞（あいこうすずむ）と申します。私はこれまで、がん研有明病院で研鑽した後、東京大学医学部附属病院、医科研病院で低侵襲手術を担当しておりました。私の原点は「残せる胃は残す、体に優しい手術」をモットーとした胃がん腹腔鏡手術ですが、その中で培った技術を活かして、食道から大腸まで消化管の手術に幅広く取り組んできました。この度、東京通信病院で手術ロボット（Da Vinci Xi®）を導入するにあたって、ロボット手術センター部長を拝命いたしました。手術ロボットとの付き合いは10年以上で、新しい手術手技の開発にも取り組んできました。心機一転、初心を忘れることなく安全で確実な治療を地域の皆様にお届けする所存です。

手術ロボットが出来ること

現在のロボット手術はAIが自動的に手術を行うのではなく、外科医が操作して手術を行うシステムです。拡大された高精細な3D映像で鮮明に体内を見ることができます。ロボットアームは外科医の手の動きを正確にリアルタイムに再現し、広い可動域と手ぶれ補正で自由自在な操作が可能です。腹腔鏡以上に正確な手術が出来るのが特徴です。その結果として、胃がんや前立腺がんなど一部のがんでは、合併症の低下や予後の向上などのメリットが数多く報告されています。小さな傷で体に優しい理想的な手術法の一つとなりつつあります。

通信病院でのロボット手術

ロボット手術は原則として保険診療として行います。現在国内では、様々な「がん」の手術が保険診療でのロボット手術の対象となっています。外科では、2026年1月以降に大腸がん、胃がんに対するロボット手術を

順次導入し、将来的には食道がんなどの高難度手術にも対象を広げる予定です。泌尿器科での前立腺がんロボット手術は2026年4月以降を見込んでいます。いずれもロボット手術だけに固執せず内科的治療も含め、ご紹介頂いた患者さんに最も適した治療を関連各科で協力して提供することを最優先といたします。

ロボット手術を希望される患者さんは、外科系各診療科の医師と相談いただければと思います。よろしく願いいたします。



ロボット手術センター 部長
愛甲 丞
(あいこう すずむ)



東京通信病院 呼吸器外科特集

Doctor's interview

呼吸器外科 医師
酒井 絵美
Sakai Emi

01

医師を目指されたきっかけと、呼吸器外科を専門とされた理由をお聞かせください。



私は医学を学ぶ前、理学部で幅広い化学を専攻していました。化学の世界は、物質の成り立ちから新しい薬の仕組みに至るまで幅広く、探究すればするほど奥深い学問です。大学院に進む頃、理学部の中でも更に専門を選ぶ必要がありましたが、当時の私はまだ明確な夢を描けずにいました。

そんな中で出会ったのが、夢に向かってまっすぐに進む、子どものような情熱を持つ教授でした。教授の専門であった「創薬」は、新しい薬を見つけ、人々の生活を変える力を持った分野であり、その魅力に触れて私も研究の道に踏み出しました。

しかし、実際の研究室は想像以上に厳しく、昼夜を問わず世界中の研究者が競い合う世界でした。その中で次第に芽生えてきたのが、「研究の成果が患者さんに届く瞬間を自分の目で見たい」という思いです。また、研究に携わるうえでも、病気や医学そのものを基礎から理解する必要があると考えるようになり、医学部への編入を決めました。

私が研修医の時に、理学部の教授や研究室の先輩方が開発に携わったお薬が「抗がん剤」として日本で使えるようになりました。研究室の仲間が思い描いた夢が形となり、その薬を私自身が医師として患者さんに投与した日は生涯忘れられない経験となりました。この経験は、私が「がん医療に携わりたい」と思う原動力となりました。



研修医時代

研修医として多くの診療科を経験する中で、ひときわ心を動かされたのが呼吸器外科でした。呼吸器外科の手術は、研修医の私が見ても驚くほど美しく、繊細で、無駄のない動きの連続でした。患者さんの命を預かる責任の重さや静かな緊張感の中にある情熱を感じ、熱心に指導してくださる先生方の姿に触れ、私も呼吸器外科を専門に選びました。



02

医師になり最も注力してきたことについてお聞かせください。 また、今後の展望についてのお考えをお聞かせください。

医学を志す前は、私自身が「患者さんや家族の立場」で医療と向き合う時間が長くありました。そのときの視点は、今でも私の診療の軸になっています。患者さんはどんな不安を抱え、どんな情報を求め、どんな一言に安心していただけるのか、その声に耳を傾けることを、何よりも大切にしています。

医師として中堅となった今でも、患者さんの多くは私よりも人生経験の豊かな“人生の先輩”です。その方々に敬意を持って向き合うこと、丁寧に説明し、一緒に治療方針を考えていく姿勢を大切にしています。

医療は、医師一人の力では決して成り立ちません。看護師、薬剤師、技師、クラーク、受付スタッフなど、病院には多職種の専門家がそれぞれの役割を果たしています。研究でも、手術でも、「チームで取り組む」ことが最も大切だと私は感じています。これからも多職種の皆さんと共に、より良い医療を届けられるチームをつくっていきたいと思っています。

03

東京通信病院呼吸器科の特徴

当院の呼吸器外科の診療は、昭和22年に結核科としての診療を開始したところから始まりました。その後、肺がん・縦隔腫瘍・気胸を含む幅広い呼吸器疾患を専門的に診療し、長年にわたって豊富な経験を積み重ねてきました。

2025年8月には、気胸診療をより体系的に行うため「気胸センター」を新たに開設しました。また同年12月には手術支援ロボット「Da Vinci Xi® (ダヴィンチ)」を導入しました。これにより、これまで行ってきた肺がんや縦隔腫瘍に対する手術にも選択肢が加わることになります。

呼吸器内科のスタッフとは、呼吸器科としてチームを組んで密に情報共有を行っています。お困りの呼吸器症状に対して内科・外科の両面からの治療方針を提案させていただける体制を整えています。

「安心して治療を受けていただく」
という基本を大切に、
スタッフ一同取り組んでいます。



04

最後に、けんこう家族をご覧の方へメッセージをお願いします。

東京通信病院呼吸器外科は、患者さんの気持ちに寄り添いながら、安心して治療を受けていただける医療を提供しています。多職種が連携しながらサポート体制を整えておりますので、呼吸器に関わるお困りごとや不安がありましたら、いつでも気軽にご相談ください。

新任医師紹介

緩和ケア内科 医長

杉浦 美恵子 (すぎうら みえこ)

緩和ケア病棟に赴任いたしました。患者さんとご家族のお気持ちに寄り添い、温かな医療を心掛けて参ります。よろしくお願い致します。



神経内科

小松 大樹 (こまつ ひろき)

東京大学から赴任しました神経内科の小松と申し上げます。手足の麻痺や話しにくさ、物忘れなど幅広く診療していきますのでご相談ください。



神経内科

小森 雄太 (こもり ゆうた)

10月から赴任致しました。神経内科はなかなか難しいご病気が多い科ですが、患者さんのお悩み一つ一つに丁寧に向き合いたいと思います。何でもご相談ください。

乳腺外科

笹原 麻子 (ささはら あさこ)

9月より乳腺外科に赴任しました。皆さまが安心して診断・治療を受けられるよう心がけてまいります。よろしくお願い致します。



整形外科

金澤 健史 (かなざわ けんじ)

10月より赴任いたしました、整形外科金澤と申します。骨折などの急性疾患から変性疾患まで患者様のお役に立てるように頑張っております。どうぞよろしくお願い致します。



皮膚科

中田 侑宏 (なかた ゆきひろ)

2025年7月から皮膚科に赴任しました。皮膚について気になることがありましたらお気軽にご相談ください。

当院を退職しました

和光 健 (神経内科)

北村 野乃 (整形外科)

片山 南瀬 (整形外科)

三浦 彩乃 (内科専攻医)

小野 智洋 (形成外科)

近藤 諒 (皮膚科)

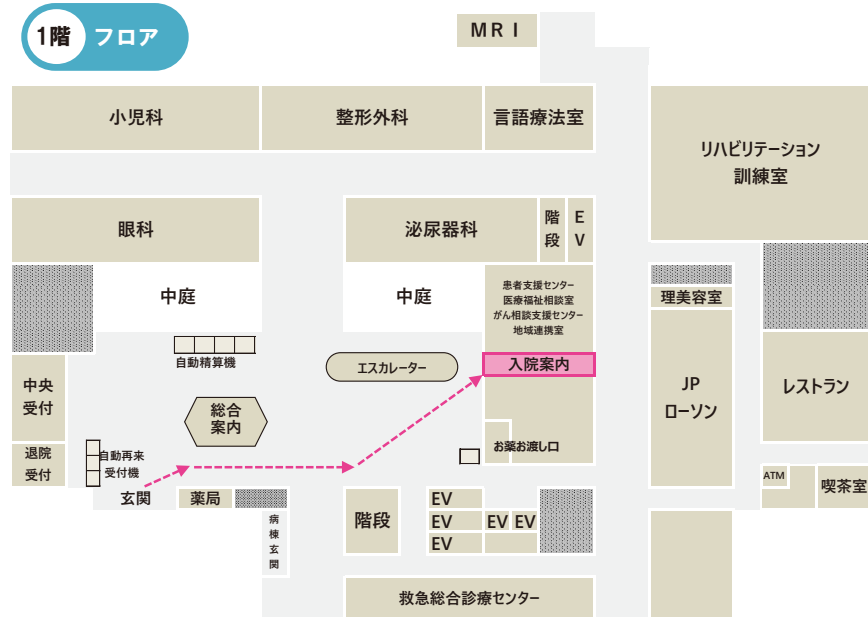
入院案内の場所が変わりました

日頃より当院をご利用いただき、ありがとうございます。10月から、入院案内の場所が変わりました。

新しい場所は、正面玄関を入った右手奥、患者支援センターの隣です。

入院案内と、入院時の様々なご説明を行う患者支援センターが隣り合うことで患者さんの移動が減り、より便利になりました。

これに伴い、紹介状をお持ちの方の窓口が正面玄関からより近い中央受付に移動しましたので、お間違えのないようご来院ください。





ネコ先生の『神楽坂通信』Vol.24



皆様こんにちは。今回は薬についてのお話です。医学の進歩と製薬技術の発展により、多種多様な薬剤が実際の医療現場で使えるようになりました。今まで長く臨床に携わってきて、特に「効果が凄い」と実感した薬を紹介します。

まずは、私の専門である消化器疾患の中から、ウイルス性肝炎に対する薬です。一つはB型慢性肝炎ウイルス（HBV）に対する核酸アナログ。これはHBVの核酸の構造に似せて作られた薬剤で、内服すると肝細胞に到達し、ウイルスの増殖を抑えます。その結果、慢性肝炎が沈静化して、肝硬変や肝細胞がんへと進むことを防げます。もう一つはC型肝炎ウイルス（HCV）の治療薬である直接作用型抗ウイルス剤（DAA）です。DAAは2～3か月間内服することでHCVを約90%の確率で完全に排除できる優れた薬剤です。副作用が少ないのも大きな利点で、これらの治療薬より、ウイルス性慢性肝炎のコントロールは劇的に良くなりました。

次に挙げたいのが、糖尿病や肥満症の治療に用いられるGIP/GLP-1受容体作動薬です。この薬は、膵臓のインスリン分泌を高め、脳に作用して食欲を抑え、脂肪の分解を良くすることで、血糖改善や体重減少を起します。食事療法や運動療法で改善が難しい場合に使用できる注射薬で、これまで他の治療で効果が乏しかった患者さんでも目に見えて体重が減少する例があり、私自身もその効果に驚かされています。一方で、吐き気などの消化器症状や、まれに膵炎・胆管炎が副作用として報告されています。また、医療目的ではなく美容目的で若い女性が自費で使用しているケースもあり、注意喚起がなされています。

続いてバイオ医薬品の抗体製剤です。バイオ医薬品は、遺伝子組換えや細胞培養技術を用いて製造された

タンパク質を成分とする薬の総称で、酵素やホルモン、そして抗体製剤が含まれます。各種の抗体製剤は特定の分子に結合してその働きをブロックし、病気の活動性を抑える薬です。潰瘍性大腸炎、関節リウマチ、アトピー性皮膚炎などで症



院長補佐兼
消化器内科 部長
光井 洋

状が劇的に良くなる例があります。ただし、製造コストがかかるため薬価が高額になりやすい点が課題です。

最後に、同じくバイオ医薬品である免疫チェックポイント阻害剤（ICI）についてお話しします。免疫をつかさどるリンパ球には、過剰反応を防ぐためのブレーキ機能（免疫チェックポイント）が備わっています。しかし、がん細胞がこの仕組みを悪用し、免疫から逃れていることが判明しました（この発見はノーベル賞を受賞しています）。ICIはこのブレーキを解除し、免疫が本来の力を発揮してがん細胞を攻撃できるようにする薬です。単剤、または抗がん剤との併用で大きながん縮小効果を示す場合があります。一方で、副作用として甲状腺機能異常、糖尿病、腸炎などの免疫関連の合併症が起こり得ます。また、効果が得られる患者さんの割合が高いこと、すべてのがんに効くわけではないことが課題です。それでも、従来ほとんど効果がなかったがん免疫療法に新たな可能性を開いた点で、画期的な治療と言えるでしょう。

今後も新しい薬が続々と登場すると思います。それらが患者さんの経過をより良くし、健康な生活を支えられることを願っています。





気胸の手術入院について

7階東病棟 看護師長 三井 裕子

7階東病棟は呼吸器外科の病棟です。今年度、当院に気胸センターが開設されたことにより、気胸の患者さんが多く入院されています。10～30歳代のやせ型の男性に多い「原発性気胸」や、肺に病気がある方や喫煙歴がある方に起こりやすい「続発性気胸」、女性ホルモンに関係した「月経随伴性気胸」など、気胸の種類は様々です。治療内容は重症度・再発の有無・年齢・基礎疾患の有無などによって異なります。手術は全身麻酔で行われ、状態によりませんが、1週間～10日程度で退院となります。

手術前日

- ・肺のレントゲンを撮ります。
- ・夕食以降、食事や固形物は食べられません。

手術当日

- ・手術の準備をして、看護師と一緒に手術室に行きます。
- ・術後は傷のそばに管(ドレーン)が入ったままとなります。
- ・痛みがある場合は痛み止めを使用します。
- ・術後4時間したら、水が飲めるようになります。
- ・食事は夕方からまたは翌朝から食べられます。

手術翌日以降

- ・朝、胸のレントゲンを撮ります。
- ・毎日傷の状態を確認します。
- ・管を抜いた翌日からシャワーに入ることができます。



傷の管理や日常生活の注意点など、退院後の生活についても看護師から説明させていただきます。分からないことや質問等があれば、いつでも看護師にお声掛けください。

人間ドックのおすすめ

人間ドックセンター

1年に1回は健康チェック (電話03-5214-7055)

男性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	
腎・尿路系	炎症・その他	
代謝系		

料金 45,100円
追加でオプション検査もごさいます。

女性 基本検査

身体測定	肝・胆道系	眼科
呼吸器系	消化器系	耳鼻科
循環器系	血液系	婦人科(子宮頸がん検診)
腎・尿路系	炎症・その他	外科系(乳房撮影+触診)
代謝系		

料金 52,360円
追加でオプション検査もごさいます。

■「歯科検診・口腔がん検診」新規オプション開始

口腔内の不調を放置せず、虫歯・歯周病・口腔がんを早期に発見することは、健康維持に重要です。当院では以下の新規オプションを開始しました。

<検査内容・料金>

- ①口腔内検診+レントゲン……………3,300円
- ②口腔内検診のみ(レントゲンなし)………2,200円
- 追加:知覚過敏処置……………2,200円



■「プレミアム肺がんドック」期間限定 (2025/11/4~2026/3/27)

新たに320列CTを導入し、AI処理により被ばくは約半分、撮影も高精度になりました。導入記念として、期間中は肺の3D画像CDを無料提供いたします。

<検査内容・料金>

- ①CT+喀痰+3D画像CD……………20,900円
- ②CTのみ+3D画像CD……………17,820円



実施日:平日のみ
詳細は
上記QRコードより
ご確認・お申込み
ください